

2023年10月5日

審査講評

伊南行政組合昭和伊南総合病院新病院建設基本設計業務委託
公募型プロポーザル審査委員会
審査委員長 村岡 紳介

この公募型プロポーザルは、昭和伊南総合病院の新病院建設に向けた基本設計業務の受託者を選定する目的で実施しました。

人口減少・少子高齢化の進行や、社会保障費の抑制に向けた医療制度の変化、地方部における医師不足など、医療・病院経営を取り巻く環境は大きく変化しつつあると同時に大変厳しいものがあります。このような状況下において、今後数十年に渡り地域住民の安心の拠点となる新病院の骨格となる今回の基本設計業務は、現在及び将来の住民生活に直結する大変重要なものと認識しています。それだけに本業務の受託者には高い専門性や十分な実績・ノウハウを求めるとともに期待を寄せるところです。

さて、今回技術提案を提出された3者様は、この業務に必要なとする十分な知識・経験を有しているほか、当院の現状や建設候補地の特性などを調査しており、いずれの提案も総じて優れた内容でした。特に、受託候補者に選定した技術提案は「将来にわたって地域を支え続ける新しい病院」を地域住民とともに作りあげる姿勢が評価され、「伊南行政組合昭和伊南総合病院新病院建設基本計画」の内容を理解し、計画の内容を設計に結び付けるための技術提案が具体的かつ現実的で優れており、また他者と比較して説得力があり全般に評価は高い水準となりました。

受託候補者以外の企画提案におかれましても、病院だけでなく「まちづくり」まで踏み込んだ提案や、建設費の抑制に関する具体的手法の提案など、いずれも各者の実績や企画力を活かした積極的な提案がありましたが、こうした課題を地域住民とともに作りあげていくための取り組みや職員の働きやすさ、多職種連携を活性化させるための具体的提案が若干弱い面が見受けられたこともあり評価が伸びなかったものと感じます。

しかしながら、いずれの提案もそれぞれに高い水準で特徴があり、全体を通してその差は非常に僅少であったと感じます。

おわりに、参加者様に対しまして、限られた日程の中で精力的にこのプロポーザルに取り組んでいただき、当院の将来に対して熱意をもってご提案をいただいたことに関しまして、ここに改めて敬意と感謝を申し上げます。審査講評とします。

令和5年10月5日実施

伊南行政組合昭和伊南総合病院

基本設計業務委託公募型プロポーザル 審査委員会委員名簿

	氏名 (敬称略)	役職等	備考
審査委員	鈴木 賢一	名古屋市立大学名誉教授	
審査委員	大塚 眞理子	長野県看護大学学長	
審査委員	小平 操	伊南行政組合助役	
審査委員	村岡 紳介	院長・病院事業管理者職務代理者	委員長
審査委員	森川 明男	副院長	
審査委員	那須野 寿子	看護部長	
審査委員	伊藤 芳明	薬剤部長	
審査委員	伊藤 秀樹	診療技術部長	
審査委員	倉田 貴志	事務長	